

つくば市記者会 御中

発信日：平成31年（2019年）2月13日（水）

発信元：つくば市都市計画部総合交通政策課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

首都圏新都市鉄道株式会社 (TX) に対し、質問状を提出 しました



つくばエクスプレス沿線9区市連名による車両編成の8両化に係る質問状の提出

つくばエクスプレス沿線9区市（つくば市、つくばみらい市、守谷市、柏市、流山市、三郷市、八潮市、足立区、荒川区）の連名で、首都圏新都市鉄道株式会社（つくばエクスプレス）社長へ「車両編成の8両化に係る質問状」を提出しました。

日時：平成31年（2019年）2月6日（水）

場所：首都圏新都市鉄道株式会社
本社会議室

相手方：首都圏新都市鉄道株式会社
柚木 浩一 社長 ほか

出席者：五十嵐 立青 つくば市長
(つくばエクスプレス沿線9区市代表)



内容：平成30年（2018年）6月28日（木）に、9区市で要望活動を行ったが、要望内容の1つである「車両編成の8両化」について、首都圏新都市鉄道株式会社の詳細な考えを確認するために、質問（別添参照）を行った。

これを受け、首都圏新都市鉄道株式会社 柚木社長から、「質問内容については、後日正式に回答する」と述べたうえで、車両編成の8両化に関する社内検討状況についての説明があった。

意見交換の中で、五十嵐つくば市長から、「車両編成の8両化実現に要する期間や費用等の情報を回答してもらうことで、TX沿線自治体としても8両化に関する課題を共有し、お互いに理解を深めていきたい。TXの混雑緩和については様々な会合で話題に上ることが多く、それだけ地元でTXが利用されており、周囲の関心と期待が高い案件である。8両化の実現に向けてよい判断をお願いしたい。」と要請した。

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 柚木浩一様

車両編成の8両化に係る質問状

つくばみらい市

守谷市

柏市

流山市

三郷市

八潮市

足立区

荒川区

つくば市

平素より、つくばエクスプレスの安全運行と利便性向上にご尽力いただき感謝申し上げます。今年度も引き続き利用客数が増加を続けていることは、貴社の多大な努力の賜物とお礼申し上げます。

さて、貴社の第28回定時株主総会後に要望させていただきました「東京駅延伸」、「車両編成の8両化」及び「通学定期乗車券の運賃引き下げ」の3点につきまして、平成30年7月13日にご回答いただいたこと、改めてお礼申し上げます。

「車両編成の8両化」につきましては、貴社内で引き続き検討を深めていく旨のご回答をいただいたところですが、沿線自治体としましては貴社と連携してまちづくりや定住化を進めていくためにも、貴社に適時適切な判断をしていただくことが重要であると考えております。

つきましては、「車両編成の8両化」に係る貴社の詳細な考え方をご教示いただきたく、下記のとおり質問を提示し回答を要請いたします。いただいた回答をもとに意見を交換し、理解を深めてまいりたいと考えております。

記

1 「車両編成の8両化」着手時期検討のための詳細な考え方

(1) 将来混雑率について

貴社が策定した中期経営計画（2018～2020年度）について、ラッシュ時間帯の混雑緩和を目的とした輸送力増強対策として、新型車両5編成の導入（いわゆる「25本化事業」）を推進するとあります。

2020年3月に予定している新型車両5編成導入後の混雑率の見通し（中期経営計画の策定に際して貴社が独自に沿線自治体の将来夜間人口を推計した2035年までの混雑率）について、回

答をお願いいたします。

(2) 許容混雑率について

前項に記載の「25本化事業」の推進により輸送力を増強し、混雑緩和を図るとのことですが、各沿線自治体による人口推計では、人口増加のピークを迎えるのは2025年以降である区市が多いことから、貴社の「25本化事業」実施により混雑緩和が図られたとしても一時的な効果にとどまり、再び混雑率が上昇に転じる可能性があると考えております。

貴社として許容する混雑率について、回答をお願いいたします。

(3) 8両化の検討期間について

現在、貴社では8両化について検討を開始し、社内で勉強会を行っていると同っておりますが、沿線自治体側からは予定が見えず、ゴールをいつに定めているのかも分からない状況です。

8両化の検討完了時期やその進捗状況について、回答をお願いいたします。

(4) 8両化実施可否の判断タイミング及び実現に要する期間について

8両化事業は、沿線自治体の人口がピークを迎える前に実現することが混雑緩和を図る上で効果的ですが、事業着手から完了まで工事等に時間を要することが想定されるため、当該期間を考慮した上で8両化実施可否の判断をすることが重要であると考えております。

8両化実施可否を判断するタイミング（前項に記載の検討作業が完了したタイミング、予め定めた混雑率を超過したタイミング

等) 及び8両化事業への着手から8両編成車両が運行開始するまでにかかる期間について、回答をお願いいたします。

2 「車両編成の8両化」課題検討のための詳細な考え方

(1) 8両化実現に要する費用及び実現する上での障壁について

貴社が行った前述の8両化についての勉強会において、費用を含め様々な課題が浮き彫りになってきたと伺っております。

8両化実現に要する費用と、事業を実現する上で障壁となる大きな課題(工事時間の確保、工事基地の建設、ホームドアの交換等)について、回答をお願いいたします。

3 「車両編成の8両化」効果測定のための詳細な考え方

(1) 8両化実現時の輸送力について

国土交通省公表の平成29年度混雑率データによると、貴社の車両6両1編成における、混雑率100%時の輸送力は832人となっております。

8両化実現時の輸送力(1編成・混雑率100%)は何人になるのか、また、8両編成車両の導入ペース(一度に全ての車両を交換、1年に数編成ずつ交換等)について、回答をお願いいたします。

回答期限 平成31年2月28日

回答様式 文書による

回答先 つくば市 都市計画部総合交通政策課

(平成30年度事務局市担当課)

以上

平成31年2月6日

つくばみらい市長 小田川 浩

守谷市長 松丸 修久

柏市長 秋山 浩保

流山市長 井崎 義治

三郷市長 木津 雅晟

八潮市長 大山 忍

足立区長 近藤 やよい

荒川区長 西川 太一郎

つくば市長 五十嵐 立青